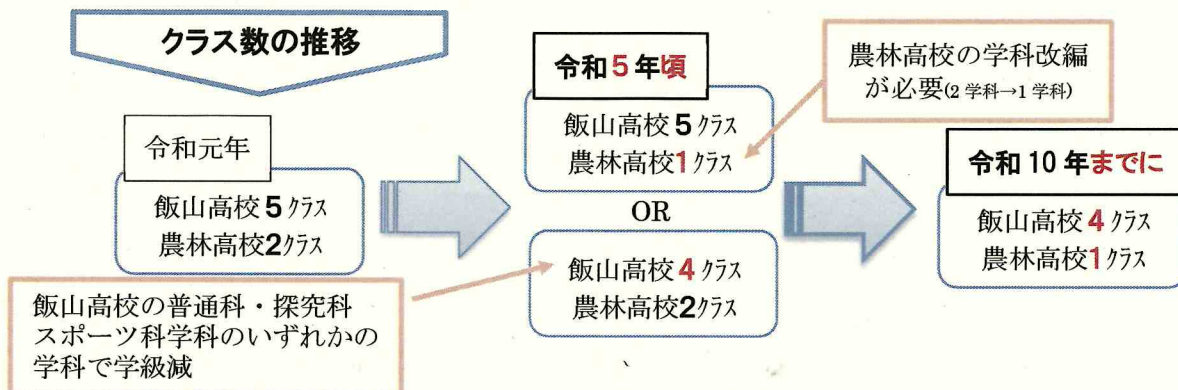


第5回 岳北地域の高校の将来像を考える協議会資料

第4回協議会結果

今後の少子化を考慮しながらも、中学卒業生が多様な学びの選択が出来るよう地域としての学びの保障を確保するため、飯山高校・農林高校の存続方法について具体的な案を示し議論する。また、両校の特色ある学びについてより深い議論を進める。

第5回協議会の論点



教育施設

1 現農林高校の教育施設を将来に渡って地域に残す

課題

教育内容

2 地域にとって地域産業を担う人材育成のための教育

1 キャンパスの形態

A

飯山・農林高校統合をしての2キャンパス化

- ① 高校として一体的な教育が可能となる。
- ② 将来にわたり現農林高校校舎等をキャンパスとして存続できる。
- ③ 新高校となるにあたり考えられる検討課題がある。

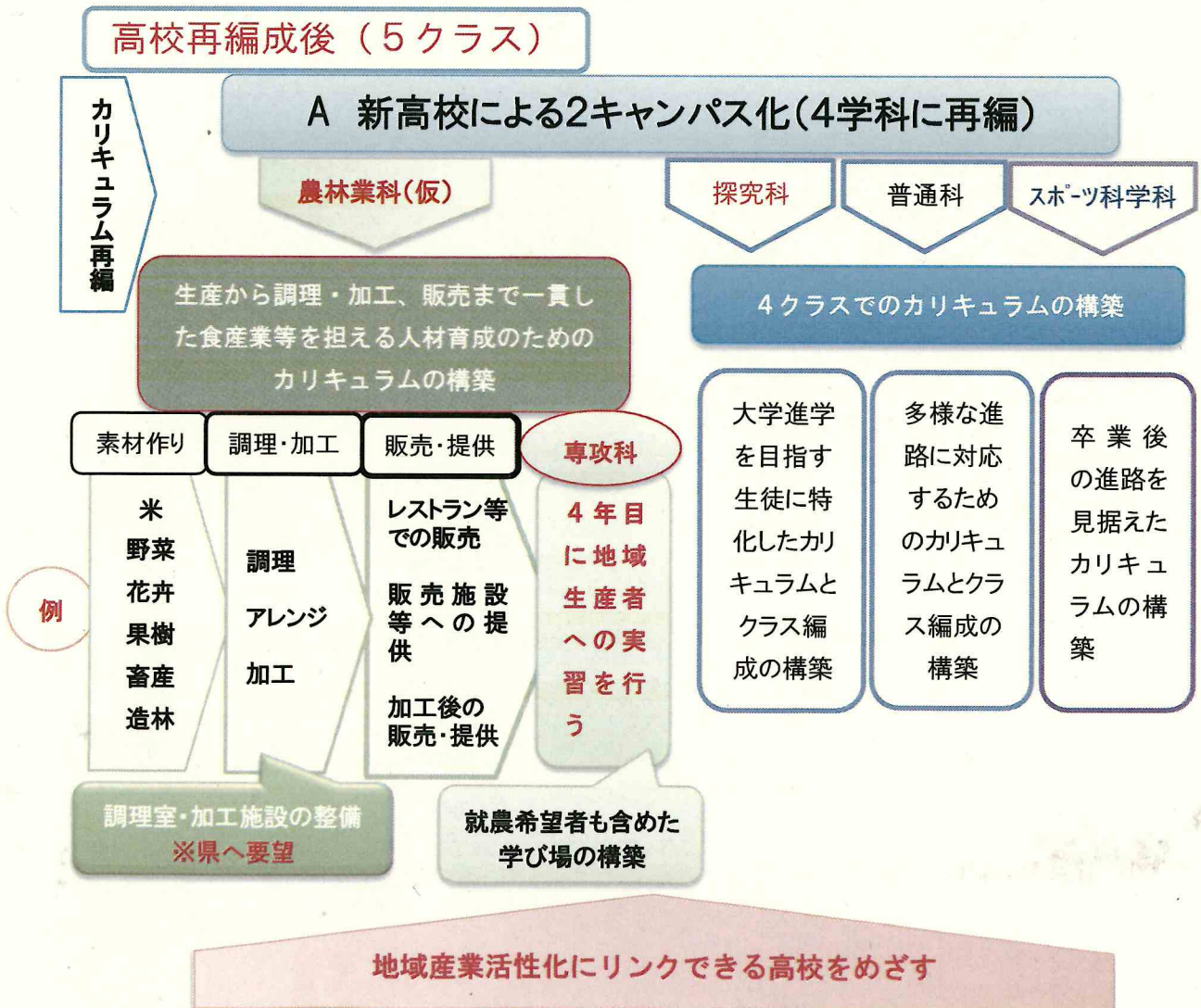
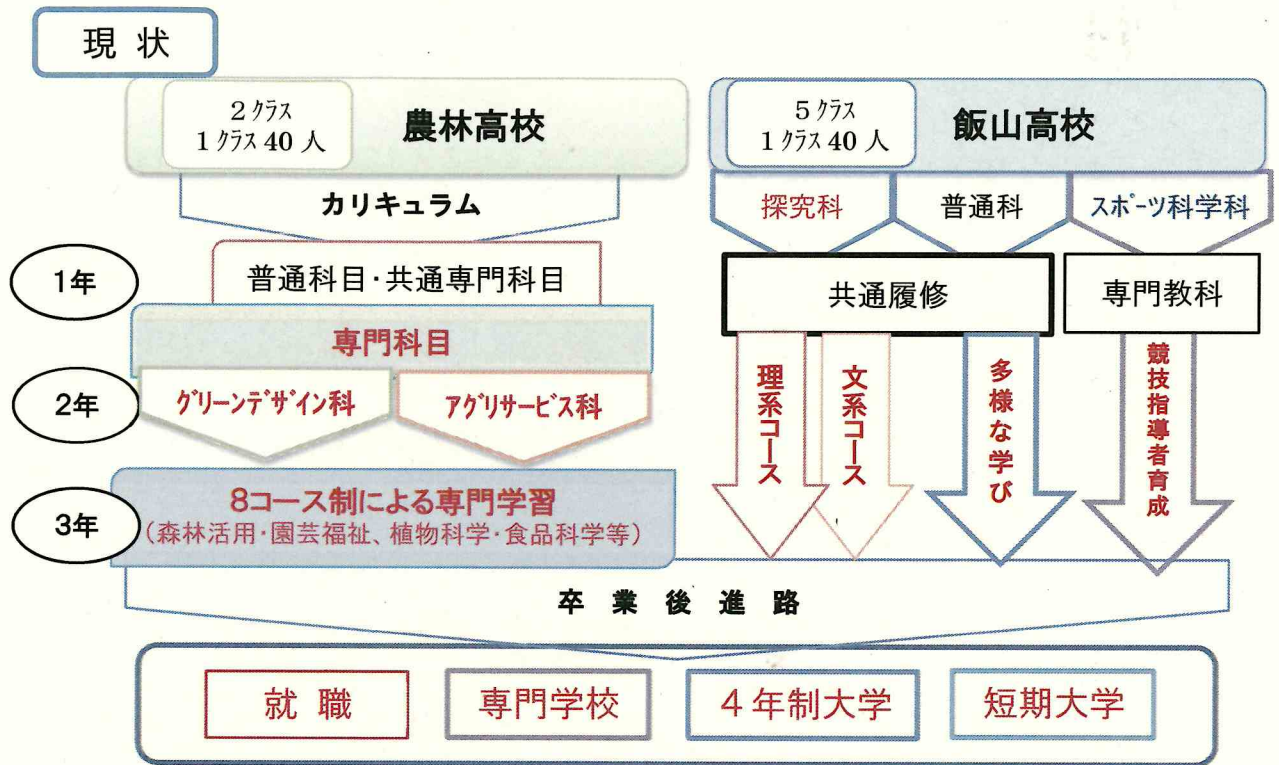
B

農林高校の地域キャンパス化(分校化)

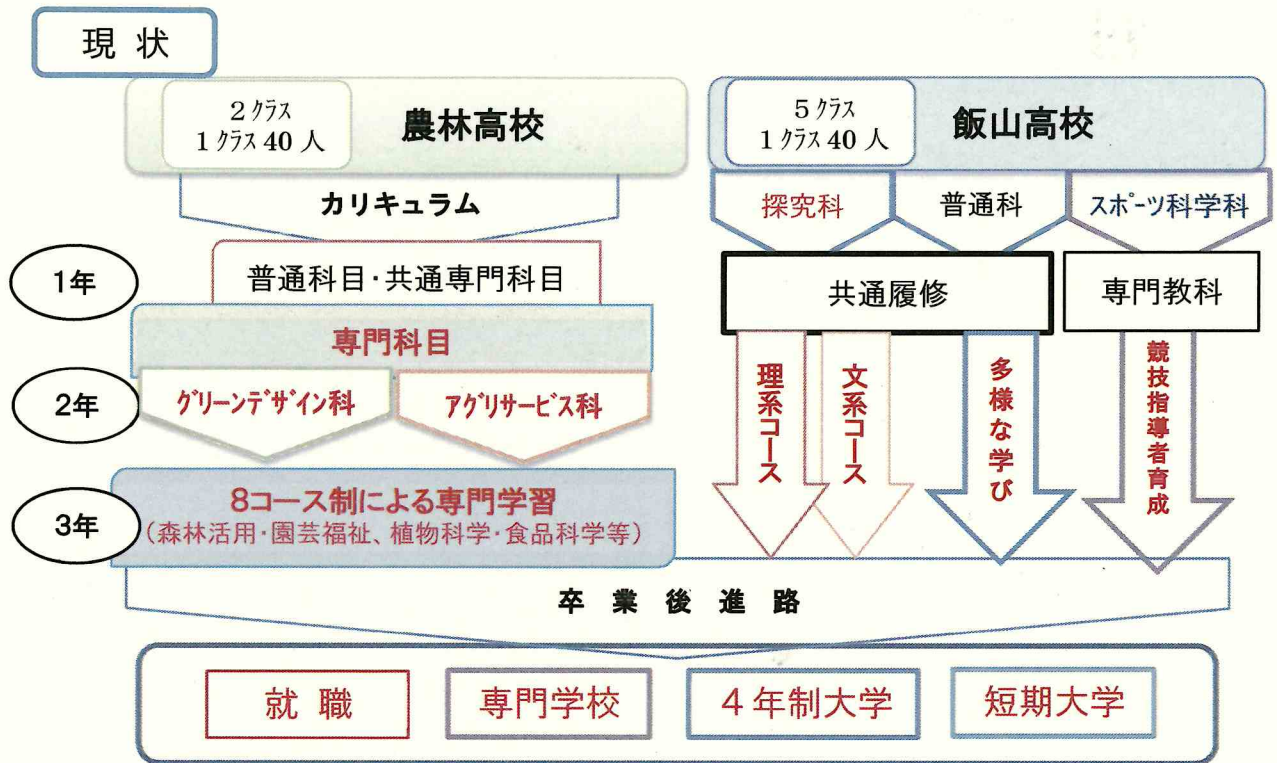
- ① 1クラスになっても地域キャンパス校(飯山高校分校)として存続が可能。
※ ただし、将来的に在籍生徒数が**60人以下の状態が2年連続した場合**には廃校となる。
- ② 学校運営が別のため、一体的な教育は難しい。

2教育内容 資料 No2 へ

資料 No2-1 2教育内容



資料 No2-2 2 教育内容



高校再編成後（5クラス）

B 農林高校の地域キャンパス化(分校化)

